

第二地区住自協・関連機関の事業案内

事業名	事業No	日時	会場
福祉健康講座「血管を守るための食事」	No4	9/17(木) 14:00~	第二地区分館 2階 集会室
善光寺表参道史跡巡りウォーキング②	教養講座	9/24(木) 9:30~	集合場所:西方寺
やろう会(男性対象)「松代陶苑で陶芸体験」	No5	9/29(火) 14:00~	松代陶苑
健康アップ術「ディスコダンス講座」	No4	10/23(金) 9:30~	第二地区分館 2階 集会室

子育てサロン「小さな一歩サロン」事業No6

時間 9:30~11:30 会場 城山公民館 第二地区分館 児童室

	日程	内容
1	9/9(水)	自由遊び + 読み聞かせ(要申込)
2	10/14(水)	自由遊び + わらべうたキッズ体操(要申込)
3	11/11(水)	自由遊び + 親子でリズムジャンプ(要申込)



信州スポーツ医療福祉専門学校講座・住自協共催講座 事業No8

- 鍼灸師直伝!いきいき東洋医学的長寿術 日時:9/26(土) 13:00~14:30
参加対象者:どなたでも 定員:25名 参加費:無料 会場:同専門学校
申込み:☎233-0555(信州スポーツ医療福祉専門学校)
- 専門学校介護福祉学科2年生による介護予防運動講座 日時:10/26(月)・27(火) 10:00~11:30
参加定員:各日20名 参加費:無料 会場:同専門学校
申込み:☎262-1263(第二地区住民自治協議会事務局 担当:三澤・^{ならまつ}雙松)

※事業の詳細は、回覧チラシ等をご覧ください。
※新型コロナウイルス感染予防のため、中止になる場合がございます。ご承知おき下さい。

自治会保険のお知らせ

自治会活動、町の活動(スポーツ大会、お祭り、育成会等)でけがをしたり、物を壊してしまった時は?「自治会保険」に加入していますので、区長を通してご連絡ください。

- 住民対象
 - 死亡 300万円
 - 入院(1日につき)2千円
 - 通院(1日につき)1千円
- 来賓、親戚等住民以外
 - 損害賠償でなく見舞金を払う場合 5千円~10万円
- 物を壊した、ケガをさせた
 - 損害賠償として最大1億円
- 雨でキャンセル
 - 弁当代、交通費、宿泊費等の最大70%

◎年間保険料 707,080円÷6,570世帯=(1世帯当たり)108円
申請漏れがないようお気軽にご相談ください。

福祉のまちづくりにご協力をお願いいたします
第二地区住民自治協議会事務局

〒380-0833 長野市大字鶴賀権堂町 2201 番地 20 権堂イーストプラザND1階
Tel: 262-1263 (FAX兼用) E-mail: dainitiku@energy.ocn.ne.jp



【写真掲載承諾済】



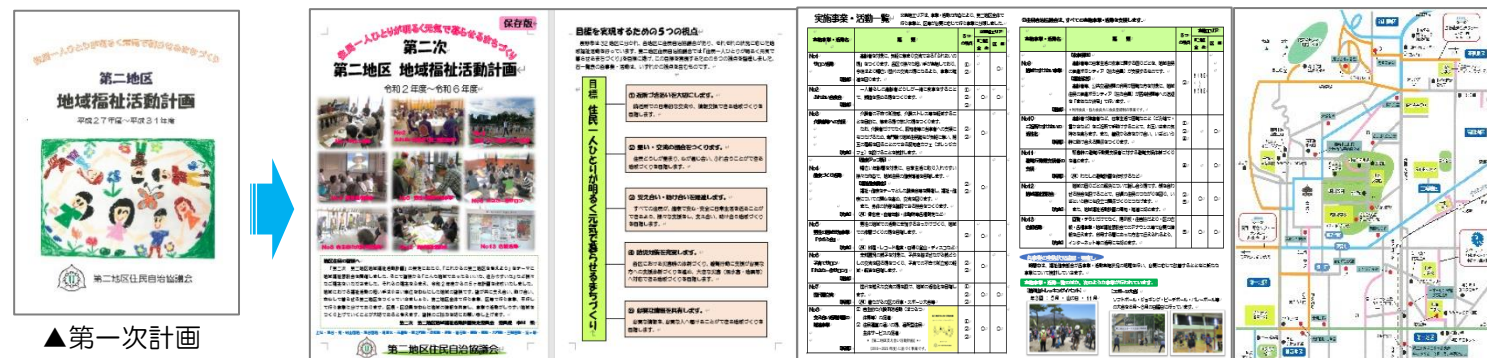
住民自治協議会だより

上松・湯谷・滝・城山団地・湯谷団地・箱清水・元善町・東之門町
伊勢町・新町・岩石町・横町・東町・大門町・三輪田町・淀ヶ橋

地域福祉特集号

発行日:令和2年9月吉日
発行者:第二地区住民自治協議会

みなさん 全家庭に配布した「地域福祉活動計画」見ましたか?



▲第一次計画

地域で共に暮らす私たちが作りました。

- 地域福祉ってなあに?
市社会福祉協議会の協力をいただき、冬の日常「雪かき」を事例に勉強会を実施しました。
- 地域福祉はだれが担っているの?(担い手の洗い出し)
区長、区役員、福祉健康部会員、民生児童委員、公民館役員、老人会役員、サロン・体操・その他サークル活動の運営担当者ボランティア活動をしている地域の方々に①②をお手伝いいただきました。
① 身近な住民の声を集めました。
・地域福祉の担い手の皆様へのアンケート
・担い手の皆様による懇談会(グループ討議)
② 第一次計画の振り返り
地域福祉の担い手の皆様に評価いただきました。
- 第二次計画の骨格を作りました。
第二次地域福祉活動計画策定委員会で、廃止・統合する事業、新規事業の検討
- 全家庭に第二次地域福祉活動計画を配布。
保存し、ご活用ください。
・シンプルで分かりやすい表現、活動内容の例示
・興味を持っていただける工夫
(表紙に活動風景、裏面に第二地区の地図を掲載)
- 計画を作って終わり?
策定委員会のプロジェクトは解散しますが、地域福祉ワーカーが福祉健康部会を通じて計画を推進します。



グループ討議



グループ発表

第一次計画の評価・反省(抜粋)									
No	事業名	周知度			必要性		要検討の理由	継続	
		◎	○	×	◎	○			×
1	サロン活動	37	17	1	34	20	5	・参加者が固定。参加の足の確保。 ・参加者が固定している。いかに増やすか。	○
		84.4%			84.4%				
2	在宅介護者のつどい	36	8	19	20	22	10	・必要ではあるが、出席するにはサービスを使わなければ出席できない。 ・介護者は時間が作れない。 ・実業介護に携わっていると出かける機会がない。	△
		68.8%			29.7%	68.9%	31.1%		
6	介護予防講座	19	24	18	21	30	5	・なぜ未実施だったか理由を検討。 ・活動の必要性を再考。 ・参加者減少から、他の事業と共催できるのでは。	×
		67.2%			28.1%	79.7%			

第二次 地域福祉計画活動計画に基づいた活動の実施

No8 支え合い活動計画の推進事業		①自主的な介護予防活動（はつらつ体操等）の推進 ②住民運営通いの場・通所型住民主体サービス
第二次計画 策定時の 検討内容	一次計画の評価・反省	新規事業
	アンケート	はつらつ体操が定着している。
	グループ討議	参加者が固定。参加者を増やす工夫が必要。
	策定委員会	具体的な内容は「支え合い活動計画」によるが、基本計画にも明記する。



支え合い活動計画



柳町ひだまり会 7/1の様子

- ①令和元年11月スタート
- ②会場：かがやきひろば柳町
- ③実施日：毎週水曜日 10:00～11:30（レク等30分含む）
- ④参加者：12名程度
- ⑤コロナ対策：3月～6月は会場が使用できず休止、7月から再開
- ⑥特色：第二地区、第三地区の柳町団地の住民の方が合同開催



柳町団地にここクラブ 7/6の様子

- ①令和元年12月スタート
- ②会場：柳町団地3号棟 集会室
- ③実施日：毎週月曜日 10:00～11:30（レク等30分含む）
- ④参加者：7名程度
- ⑤コロナ対策：3月～5月は活動休止、6月から再開
- ⑥特色：団地の集会室のため付近のお年寄りが参加しやすい。



湯谷団地はつらつ体操クラブ 6/23の様子

- ①令和2年4月スタート
- ②会場：湯谷団地公会堂
- ③実施日：毎週火曜日 10:00～11:30
- ④参加者：15名程度
- ⑤コロナ対策：高齢者の体力・健康維持を優先し、活動を継続
- ⑥特色：プロジェクターで映像を映し分かりやすい活動

市・住自協の活動支援

大好評！はつらつ体操（介護予防体操）情報交換会



7/28 榎堂イーストプラザにて

第二地区内で活動を継続する6グループの代表者15名が集まり、互いの活動の活性化を目的とした情報交換会を初開催しました。グループに分かれて、それぞれの活動団体の活動の悩みや工夫を話し合い、参加者全員から有意義だったと大好評でした。

- 長野市地域包括ケア推進課（理学療法士 宮入さん）から
 - ・新型コロナウイルス感染症予防と熱中症対策のポイント説明
- 第三地区地域福祉ワーカー（大森さん）から
 - ・費用のかからない手作りレクリエーションの紹介
- 第二地区地域福祉ワーカーから
 - ・スマイルボーリング等貸し出しできるレク用具の紹介を行いました。

No4 健康づくり活動 【健康アップ術】		幅広い年齢層を対象に、日常生活に取り入れやすい様々な内容で、地域住民の健康増進を目指します。
第二次計画 策定時の 検討内容	一次計画の評価・反省	周知度65.6% 必要性73.4%（一次計画のふれあいラジオ体操）
	アンケート	シニアの健康を目的とした歌とダンスの催しをしてほしい。
	グループ討議	ご近所なら、地区をまたいだ参加者の声かけを行う。
	策定委員会	運動・体操等に限定せず、幅広い活動とする。



7/16 ノルディックウォーキング
第三地区主催・第二地区共催 参加者34名
アジサイ満開の霊仙寺湖周辺を歩きました。



8/3 城東小学校ラジオ体操講習会
小さなお子様から高齢者の方まで約260名参加
さわやかな朝に、気持ちよく体操できました。

No7 世代間交流		世代を越えた交流の場を設け、地域の活性化を目指します。 （例）昔ながらの区の行事・スポーツ大会等
第二次計画 策定時の 検討内容	一次計画の評価・反省	新規事業
	アンケート	ふれあい会食での園児との交流、町内運動会、しめ縄作りを実施している。
	グループ討議	女性、子育て世代のリーダー、ボランティアの養成が求められる。
	策定委員会	懇談会（グループ討議）でも意見が多数出て関心が高い。

地附山カブトムシイベント

地附山トレッキングコース愛護会のみなさんが昨年から育ててきたカブトムシの幼虫が成虫になり、各町の育成会の希望者の方にプレゼントしました。当初、7月4日にイベントを予定していましたが、まだ成虫になっておらずイベントは中止し、その後、約150匹成虫になったことから、申し込んでいただいた順に地附山でカブトムシをプレゼントしました。



地附山で大きくなったカブトムシたち

No11 避難行動要支援者の支援		緊急時の避難行動要支援者に対する避難支援体制づくりを進めます。 （例）わたしの避難計画を作成するなど
第二次計画 策定時の 検討内容	一次計画の評価・反省	周知度57.8% 必要性90.6%
	アンケート	地附山地滑りの際に、犠牲者を出さなかった好事例がある。
	グループ討議	台風19号災害を目の当たりにして、助け合いの必要性を感じた。
	策定委員会	現在、第二地区では取り組んでおらず、他地区の取組みを学ぶ必要がある。

6月19日 地域福祉推進セミナー「東日本台風災害を通して見えてきた地域の力」参加
令和元年10月の東日本台風（台風19号）は長野市にも甚大な被害をもたらしました。「日頃から人と人との繋がりを作ることが防災対策。『いざという時に頼れる関係づくりを！』という被災者のメッセージが心に響きました。

